

# 京都滋賀体育学会 第148回大会 プログラム



日時： 2019年3月10日（日）9:50～17:00  
場所： キャンパスプラザ京都 2階 ホール  
主催： 京都滋賀体育学会

# 京都滋賀体育学会 第 148 回大会

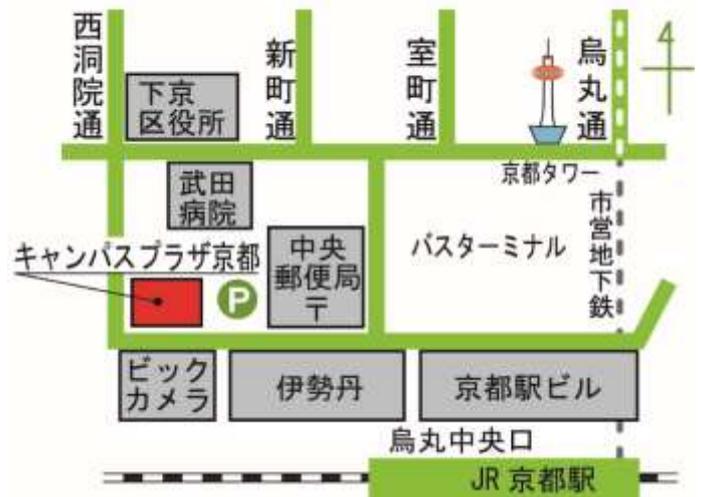
日時： 2019 年 3 月 10 日 (日) 9:50~17:00

場所： キャンパスプラザ京都 2階 ホール

〒600-8216 京都市下京区 西洞院通塩小路下る東小路町 939

## 大会スケジュール

9:20 - 9:40	受付	[2階 ホール入口]
9:40 - 9:50	オープニング	[2階 ホール]
9:50 - 12:05	一般研究発表①, ②	[2階 ホール]
12:05 - 13:05	昼食	[2階 ホール]
	(理事会)	[6階 立命館大学講義室]
13:05 - 15:10	一般研究発表③, ④	[2階 ホール]
15:10 - 15:20	休憩	
15:20 - 16:00	基調講演	[2階 ホール]
16:00 - 16:40	総会・奨励賞表彰	[2階 ホール]
16:40 - 17:00	クロージング	[2階 ホール]



- ・京都駅ポルタ C7 出口から徒歩約 2 分
- ・京都駅西洞院口(ビックカメラ)出口から徒歩約 2 分
- ・京都駅八条西口(東側)出口から徒歩約 6 分
- ・会場アクセス参照 URL <http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>
- ・公共交通機関をご利用ください



## 【大会役員】

大会長： 入口 豊（びわこ成蹊スポーツ大学）

## 【大会事務局】

事務局長： 佃 文子（びわこ成蹊スポーツ大学）

お問合せ： kyoto.shiga.148@gmail.com

## 大会参加費：

会員： 無料

非会員： 1,000 円（当日会員） 大会受付にてお支払い下さい（事前申込・事前支払不要）

## 一般発表者へのお知らせ：

- ・ 発表時間は 7 分，質疑応答 3 分（合計 10 分）とします。発表終了 2 分前に 1 鈴，発表終了で 2 鈴，全体終了で 3 鈴を鳴らします。発表は時間厳守をお願い致します。
- ・ プロジェクターを使用する場合
  - (a) 会場の発表受付にて PowerPoint ファイルを，午前の発表セッションは 9 時 35 分まで，午後の発表セッションは 12 時 55 分までに USB メモリ，CD 等で会場の Windows PC(OS: Windows10)にコピーして下さい。なお MacOS の方はその旨，お知らせください。
  - (b) プレゼンテーションソフトは Microsoft PowerPoint 2016 です。レーザーポインターは大会事務局で準備致します。
  - (c) ファイルネームは，『演題番号+演者名字』をお願い致します。（例：01 佃）
- ・ 発表資料について
  - (a) 必要に応じて簡単なもので結構です。できるだけ 60 部程度のご用意をお願い致します。（当日は事務局でのコピーは致しません。）
  - (b) 各発表セッションの開始 5 分前までに会場の発表受付に資料をご持参下さい。

## 参加者へのお知らせ：

- ・ 会場には公共交通機関をご利用下さい。
- ・ 受付は，2 階 ホール入り口付近になります。
- ・ 昼食はご持参いただくか近隣（3 分圏内）のコンビニ（セブンイレブン，ローソン）飲食店をご利用いただけます。  
会場内は軽食のみ飲食が認められております。
- ・ ごみの持ち帰りにご協力下さい。

エントランスから  
エレベーター（階段）で2階へ  
右手奥のホールが会場です



## 【プログラム】

オープニング 9:40~9:50 ホール

一般研究発表 セッション1 9:50~11:00 ホール

座長：村瀬 陽介（びわこ成蹊スポーツ大学）

01 一般学生を対象とした筋力トレーニングの被指導経験とトレーニングに関する知識との関係  
○小林義樹（株式会社 Enjoydream Holdings），宮地遥（京都工芸繊維大学大学院），  
野村照夫（京都工芸繊維大学），来田宣幸（京都工芸繊維大学）

02 スポーツ選手を対象とした運動器検診とその評価方法運動器障害の予防と早期発見に向けて  
🏆○宮地遥（京都工芸繊維大学）

03 幼児から小中学生における体の柔軟性：その獲得と阻害要因についての考察  
🏆○後野良太（滋賀県立大学），肥田嘉文（滋賀県立大学），寄本明（京都女子大学）

04 TensorFlow と OpenCV による高齢者の姿勢評価—RGB 画像と Depth 画像による機械学習を用いて—  
🏆○小谷諒（京都工芸繊維大学），甲斐義浩（京都橘大学），森原徹（丸太町リハビリ  
テーションクリニック），来田宣幸（京都工芸繊維大学），野村照夫（京都工芸繊維大学）

05 中年期女性における動脈硬化指標と骨密度および栄養摂取状況との関連  
🏆○浜口佳奈子（立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科），栗原俊之  
（立命館大学スポーツ健康科学部），藤本雅大（産業技術総合研究所），佐藤幸治  
（神戸大学大学院人間発達環境学研究科），家光素行（立命館大学スポーツ健康科学部），  
浜岡隆文（東京医科大学），真田樹義（立命館大学スポーツ健康科学部）

06 Significant Life Experiences による環境意識の深まりと環境配慮行動  
—野外教育指導者の語りから—  
🏆○澤田葵（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），林綾子（びわこ成蹊スポーツ大学）

07 全国男子高校駅伝の戦略について  
🏆○弓削圭介（立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科），  
岡本直輝（立命館大学）

一般研究発表 セッション2 11:05~12:05 ホール

座長：吉川 文人（びわこ成蹊スポーツ大学）

08 接地時間と跳躍高から走高跳の特異的な跳躍能力を評価する Reactive High Jump test の  
実施法  
🏆○上島みどり（びわこ成蹊スポーツ大学大学院），藤林献明（びわこ成蹊スポーツ大学）

- 09 男子十種競技選手におけるハードルパフォーマンス向上を促す主観的イメージと客観的動作  
 ◎津田右近（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），藤林献明  
 （びわこ成蹊スポーツ大学）
- 10 走高跳における踏切動作改善のトレーニングマテリアルとしてのハードルジャンプ  
 ◎田中勇悟（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），藤林献明  
 （びわこ成蹊スポーツ大学）
- 11 小学生の全力疾走動作における接地タイプと体力データの関係  
 ～文部科学省新体力テストを用いて～  
 ◎森瑛斗（京都教育大学体育領域専攻）
- 12 水平跳躍種目の助走と短距離走の加速疾走における走速度変化の比較  
 ○篠原康男（立命館大学），藤林献明（びわこ成蹊スポーツ大学）
- 13 最大努力下でのホッピング運動中の両側性機能低下—スプリンターと一般人との比較—  
 ○大塚光雄（立命館大学），栗原俊之（立命館大学），伊坂忠夫（立命館大学）

昼食

12:05～13:05

近隣の飲食店などをご利用ください 会場内で軽食の飲食も可能です  
 理事会 → キャンパスプラザ 6F 立命館大学講義室

一般研究発表 セッション 3

13:05～14:05

小ホール

座長：（ 調整中 ）

- 14 消費者のスポーツウェア購買行動における製品満足，トラスト，ロイヤルティ，レピュテーションの関係性について  
 ◎宮脇 裕紀（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），山本達三（びわこ成蹊スポーツ大学）
- 15 関与-知識モデルを用いたプロ野球観戦者のプロファイリングと再観戦モデルの検討  
 ◎島田聖也（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），山本達三  
 （びわこ成蹊スポーツ大学）
- 16 消費者のブランド選択行動における製品満足，ブランド・エクイティ，ブランド・ロイヤルティの関係性：テニスラケットの購買行動に着目して  
 ◎渡辺君夫（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部），山本達三  
 （びわこ成蹊スポーツ大学）

- 17 デスティネーションイメージがスポーツイベントの再参加に与える影響  
 :トレイルランニングイベントの参加者に着目して  
 〽〇松尾和明(びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部)  
 , 山本達三(びわこ成蹊スポーツ大学)
- 18 ブータン王国サッカー国内リーグの変遷—2011年~2017年までの実態調査を基に—  
 〇松山博明(追手門学院大学), 中村泰介(園田学園女子大学短期大学部),  
 松竹貴大(関西大学)
- 19 10代水泳選手の障害理解に対する意識変容—パラ水泳の直接観戦を通して—  
 〽〇瀬川海(滋賀大学教育学研究科), 奥田鉄人(日本スイミングクラブ協会障害者水泳普及  
 活動推進委員長), 金山千広(立命館大学)

一般研究発表 セッション4

14:10~15:10

ホール

座長: 大塚 光雄(立命館大学)

- 20 パラ・アーティスティック・スイミングの演技評価に向けたパラメータの検討  
 〽〇川端悠郁(京都工芸繊維大学), 野村照夫(京都工芸繊維大学),  
 来田宣幸(京都工芸繊維大学)
- 21 ハードリング技術向上を目的とした移動方法の検討  
 —ICTを用いた指導マニュアルの検証—  
 〽〇鍵本真啓(立命館大学大学院), 岡本直輝(立命館大学)
- 22 走り高跳び(背面跳び)の観察的評価基準の作成の検討  
 〽〇長澤涼介(京都教育大学大学院)
- 23 マット運動における倒立前転の促発指導に関する事例研究  
 —器械運動を苦手としている学習者の動感にあったコツの指導—  
 〽〇小谷幸平(びわこ成蹊スポーツ大学大学院)
- 24 「部活動指導員」の制度化に関する研究  
 —学校における顧問教員との連携に焦点を当てて—  
 〽〇岡田拓真(びわこ成蹊スポーツ大学大学院)
- 25 高校・大学の運動部活動における問題抽出および指導法の検討  
 〽〇村井実稀(立命館大学スポーツ健康科学部),  
 岡本直輝(立命館大学スポーツ健康科学部)

休憩

15:10~15:20

基調講演

15:20~15:55

小ホール

演 題 : 「 スポーツと教育 」

入口 豊 氏 (びわこ成蹊スポーツ大学 学長)

京都滋賀体育学会総会・奨励賞表彰

16:00~16:40

ホール

クロージング

16:40~

ホール

